

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	学習認知心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 6,7時限他	教室名	401
担 当 教 員	藪田拓哉	実務経験とその関連資格	公認心理師、臨床心理士。発達障害児支援、精神科、老年内科などで実務経験を積む。また大学、専門学校にて講義担当			
《授業科目における学習内容》						
人間がどのように外界をとらえているのか、また新しい行動や知識をどのように獲得していくのかを理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト100%で評価します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義は配布資料を基に板書、スライド提示などにより進めていきます。 適宜、画像・動画資料や体験型ワークを通じて進めていきます。						
《授業外における学習方法》						
配布資料や演習問題、ワークを振り返りながら復習を徹底し、1つずつ知識を定着したり、様々な日常場面に応用できるようにしていただきます。適宜、関連書籍などを用いて知識を発展させていく。						
《履修に当たっての留意点》						
各自の目標や能力に沿って主体的に楽しんで取り組んでいただけると幸いです。復習に時間を当て1つずつ知識習得し日常や国家試験への応用力を身につけていってください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	私たちは世界をどう見て生きているか	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。	
		各コマにおける授業予定	①オリエンテーション ②感覚・知覚・認知、学習とは何か ③心のフィルター/物質世界と心理世界について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の心理、精神物理学の基本を学ぶ	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。	
		各コマにおける授業予定	感覚心理学、精神物理学について体験型ワークを通じて学ぶ。 【キーワード】感覚の種類、感覚可能範囲と感度、物理量と心理量(ウェーバーフェヒナーの法則など)、順応、感覚遮断など			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	さまざまな感覚・知覚・認知の心理学を学ぶ(1)	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。	
		各コマにおける授業予定	体験型ワークを通じて、さまざまな感覚・知覚・認知心理学のトピックを学ぶ 【キーワード】錯覚 知覚の恒常性 図地の分化 群化の法則 注意			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	さまざまな感覚・知覚・認知の心理学を学ぶ(2)	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。	
		各コマにおける授業予定	体験型ワークを通じて、さまざまな感覚・知覚・認知心理学のトピックを学ぶ 【キーワード】色彩・運動・奥行き・オブジェクト認知 認知地図 知覚の統合・協応			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶(1)「記憶についての基本事項を学ぶ」	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。	
		各コマにおける授業予定	①記憶の基礎知識(記憶過程など) ②記憶の分類 記憶のワークショップ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶(2)「記憶のメカニズム; 日常と記憶」	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	①記憶の変容 ②忘却 日常における記憶		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	知識やイメージ、感情を学習認知心理学の視点から考える	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	①知識の構造やイメージ ②感情と認知		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題解決と推論	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	①問題解決と推論 ②認知的バイアス		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習心理学(1)「古典的条件付け」	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	・古典的条件付けについて基本的な知識を習得する ・日常や臨床場面における古典的条件付けを考える		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習心理学(2)「オペラント条件付け」	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	・オペラント条件付けについて基本的な知識を習得する ・日常や臨床場面における古典的条件付けを考える		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習心理学(3)「さまざまな学習」	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	さまざまな学習心理学トピックについて考える。 【キーワード】観察学習 弁別学習 技能学習 学習の転移、学習性無力感など		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人認知(1)	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	①態度の基本 ②態度に関する理論(ハイダーのバランス理論、認知的不協和理論など)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人認知(2)	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	①印象形成 ②対人魅力 ③ステレオタイプ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語を心理学の視点から考える	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	言語心理学の基礎を学ぶ ①言語/非言語コミュニケーション ②言語と思考など		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	教科書・プリント PC、プロジェクター、マイク	配布資料や演習問題の復習。講義内容のトピックを書籍やネットで調べてみる。
		各コマにおける授業予定	本講義の総括を行う		